



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月30日

上場会社名 株式会社日本エム・ディ・エム 上場取引所 東  
 コード番号 7600 URL http://www.jmdm.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大川 正男  
 問合せ先責任者 (役職名) IR部長 (氏名) 棟近 信司 (TEL) 03-3341-6705  
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	3,812	—	△229	—	△384	—	△307	—
24年3月期第2四半期	4,523	△0.8	179	△18.9	89	325.6	22	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 △337百万円( —%) 24年3月期第2四半期 △107百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	△11.61	—
24年3月期第2四半期	0.87	—

当社は、平成24年3月期より決算期を毎年5月31日から毎年3月31日に変更しております。これに伴い、平成25年3月期第2四半期(4月1日から9月30日)と、比較の対象となる平成24年3月期第2四半期(6月1日から11月30日)の月度が異なるため、平成25年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	15,619	10,729	68.7
24年3月期	17,596	11,199	63.6

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 10,729百万円 24年3月期 11,199百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,500	—	700	—	550	—	260	—	9.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成24年3月期は、決算期変更により10か月決算となっておりますので、平成25年3月期の連結業績予想の通期の対前期増減率は記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	26,475,880株	24年3月期	26,475,880株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	14,017株	24年3月期	14,013株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	26,461,866株	24年3月期2Q	26,461,961株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

・当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

平成24年11月8日(木)……機関投資家・アナリスト向け決算説明会

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(4) セグメント情報等 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10
(6) 重要な後発事象 .....	10
4. 補足情報 .....	10
販売実績 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当企業集団の当第2四半期連結累計期間における売上高は、3,812百万円、営業損失229百万円、経常損失384百万円、四半期純損失307百万円となりました。

主な要因は次のとおりであります。

売上高は、米国子会社Ortho Development Corporation（以下ODEV社）製人工股関節製品の売上が日本国内及び米国で引き続き順調に伸張しましたが、一方で日本国内における、平成24年4月に行われた償還価格引下げの影響、ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社メディカルカンパニーとの販売契約の終了、競合他社との競争激化並びに季節的要因により主として骨接合材料の売上が減少したことから、売上高合計は3,812百万円となりました。

また、自社開発製品を核にした新規導入計画製品の多くは当第2四半期連結会計期間に販売を開始することができましたが、一部新製品について、品質確保の為の慎重な対応を行ったことにより、全国販売展開が予定より遅れました。しかしながら、現在では、新規導入計画製品のほとんどは全国販売展開を果たしております。

営業損益は、償還価格引下げによる売上原価率への影響がありましたが、自社製品売上比率が53.1%（第1四半期は自社製品売上比率45.8%）となったことから売上原価率は37.7%（第1四半期は売上原価率40.0%）、販売費及び一般管理費合計は2,603百万円となり、営業損失229百万円となりました。

経常損益は、営業外費用として急激な円高進行により、主にODEV社に対する外貨建て貸付金に係る為替評価損を原因とする為替差損97百万円を計上したことなどから経常損失384百万円の計上となりました。

特別損益は、固定資産除却損21百万円を特別損失として計上しました。

その結果、四半期純損失は307百万円となりました。

なお、当社は、平成24年3月期より決算期を毎年5月31日から毎年3月31日に変更しております。これに伴い、平成25年3月期第2四半期（4月1日から9月30日）と、比較の対象となる平成24年3月期第2四半期（6月1日から11月30日）の月度が異なるため、平成25年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## ①日本

売上高は3,018百万円、営業損失は275百万円となりました。

## ②米国

売上高は1,946百万円、営業利益は148百万円となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比べ1,976百万円減少し、15,619百万円となりました。

主な減少は、ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社メディカルカンパニーとの販売契約終了に基づき同社に同社製商品を譲渡したことなどによる商品及び製品の減少1,867百万円、受取手形及び売掛金536百万円であり、主な増加は、有形固定資産の工具、器具及び備品267百万円であります。

負債合計につきましては、前連結会計年度末と比べ1,507百万円減少し、4,889百万円となりました。

主な減少は、短期借入金1,782百万円であり、主な増加は、長期借入金730百万円であります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比べ469百万円減少し、10,729百万円となりました。主な減少は、利益剰余金439百万円であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成24年5月10日に開示いたしました通期の連結業績予想は変更いたしません。なお、当社の連結業績予想の前提としている対ドル為替レートの変動により予想値が大きく変動する可能性があります。

なお、連結業績予想の前提としている対ドル為替レートは1ドル83円であります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当する事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(税金費用の計算方法の変更)

従来、税金費用については、年度決算と同様の方法にて計算しておりましたが、第1四半期連結会計期間より、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法に変更しております。

これは、将来発生が見込まれる課税所得を勘案し、四半期連結会計期間の課税所得に対応する税金費用をより正確に反映させるために行ったものであります。当該会計方針の変更は遡及適用され、前年四半期については遡及適用後の四半期連結財務諸表となっております。

この結果、遡及適用を行う前と比較した、前第2四半期連結累計期間の四半期純損失に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,290,730	2,263,008
受取手形及び売掛金	1,941,540	1,405,368
商品及び製品	5,322,864	3,455,046
仕掛品	89,781	143,914
原材料及び貯蔵品	449,018	589,568
繰延税金資産	278,553	281,085
その他	491,768	497,908
貸倒引当金	△16	△5,937
流動資産合計	10,864,240	8,629,964
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	643,532	641,444
機械装置及び運搬具(純額)	110,288	121,871
工具、器具及び備品(純額)	1,699,864	1,967,340
土地	2,152,725	2,151,588
その他	16,814	23,991
有形固定資産合計	4,623,225	4,906,236
無形固定資産	117,468	96,729
投資その他の資産		
投資有価証券	7,542	6,479
繰延税金資産	1,914,281	1,911,982
その他	112,752	111,176
貸倒引当金	△42,998	△43,003
投資その他の資産合計	1,991,578	1,986,635
固定資産合計	6,732,272	6,989,600
資産合計	17,596,512	15,619,565

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	609,662	511,577
短期借入金	3,978,386	2,195,770
リース債務	1,214	1,214
未払法人税等	94,470	32,588
未払費用	137,160	147,500
未払金	149,308	140,066
賞与引当金	142,413	120,992
その他	325,217	45,100
流動負債合計	5,437,834	3,194,812
固定負債		
長期借入金	504,000	1,234,377
リース債務	2,429	1,821
退職給付引当金	424,619	421,055
資産除去債務	22,996	32,348
長期未払金	3,960	3,960
長期預り金	1,500	1,500
固定負債合計	959,505	1,695,063
負債合計	6,397,339	4,889,875
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,001,929	3,001,929
資本剰余金	2,587,029	2,587,029
利益剰余金	5,625,123	5,185,693
自己株式	△26,059	△26,060
株主資本合計	11,188,022	10,748,591
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,232	549
為替換算調整勘定	9,917	△19,451
その他の包括利益累計額合計	11,150	△18,901
純資産合計	11,199,172	10,729,689
負債純資産合計	17,596,512	15,619,565

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
四半期連結損益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	4,523,485	3,812,243
売上原価	1,764,455	1,438,237
売上総利益	2,759,029	2,374,005
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	59,766	62,761
販売促進費	102,750	117,258
広告宣伝費	12,126	26,787
給料及び手当	950,646	941,496
退職給付費用	2,214	3,040
法定福利費	103,135	101,016
福利厚生費	42,255	48,121
貸倒引当金繰入額	47,366	5,926
旅費及び交通費	81,317	76,782
減価償却費	339,480	310,001
租税公課	26,916	28,067
研究開発費	110,783	138,008
その他	700,345	743,897
販売費及び一般管理費合計	2,579,104	2,603,167
営業利益又は営業損失(△)	179,924	△229,162
営業外収益		
受取利息	171	140
受取配当金	161	131
業務受託料	12,699	13,292
その他	9,867	10,083
営業外収益合計	22,898	23,647
営業外費用		
支払利息	32,004	39,139
手形売却損	2,926	2,097
為替差損	28,235	97,136
シンジケートローン手数料	43,303	31,325
その他	7,235	9,365
営業外費用合計	113,706	179,064
経常利益又は経常損失(△)	89,117	△384,579



(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
特別利益		
固定資産売却益	484	—
特別利益合計	484	—
特別損失		
固定資産売却損	—	6,797
固定資産除却損	15,774	21,026
特別損失合計	15,774	27,823
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	73,828	△412,402
法人税、住民税及び事業税	42,943	△96,274
法人税等調整額	7,961	△9,007
法人税等合計	50,905	△105,281
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	22,922	△307,121
四半期純利益又は四半期純損失(△)	22,922	△307,121

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	22,922	△307,121
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△486	△683
為替換算調整勘定	△130,177	△29,368
その他の包括利益合計	△130,664	△30,052
四半期包括利益	△107,742	△337,173
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△107,742	△337,173
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)  
該当する事項はありません。

## (4) セグメント情報等

## I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年6月1日 至 平成23年11月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	米国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,785,727	737,757	4,523,485	—	4,523,485
セグメント間の内部売上高 又は振替高	324	441,934	442,259	△442,259	—
計	3,786,052	1,179,692	4,965,745	△442,259	4,523,485
セグメント利益	104,796	67,867	172,664	7,260	179,924

(注) 1 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去7,260千円が含まれています。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	米国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,018,045	794,197	3,812,243	—	3,812,243
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	1,151,811	1,151,811	△1,151,811	—
計	3,018,045	1,946,009	4,964,055	△1,151,811	3,812,243
セグメント利益又は損失(△)	△275,824	148,065	△127,758	△101,403	△229,162

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額には、セグメント間取引消去△101,403千円が含まれています。

2 セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)  
該当する事項はありません。

## (6) 重要な後発事象

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)  
該当する事項はありません。

## 4. 補足情報

## 販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称及び品目		当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
		金額(千円)
医療機器類	日本	3,018,045
	骨接合材料	1,269,990
	人工関節	1,234,094
	脊椎固定器具	195,916
	その他	318,043
	米国	794,197
	人工関節	703,098
脊椎固定器具	90,893	
	その他	205
合計		3,812,243

(注) セグメント間の取引については相殺消去しております。また、上記金額に、消費税等は含まれておりません。また、当社は、平成24年3月期より決算期を毎年5月31日から毎年3月31日に変更しております。これに伴い、平成25年3月期第2四半期(4月1日から9月30日)と、比較の対象となる平成24年3月期第2四半期(6月1日から11月30日)の月度が異なるため、対前年同四半期増減率については記載しておりません。